

伊丹市・イオンモール伊丹・神戸大学塚本寺田研究室による 俳句投稿ウォーキングラリー『伊丹 ふおと俳句の杜』

工学研究科電気電子工学専攻
寺田努准教授

神戸大学の塚本・寺田研究室は、伊丹市およびショッピングモールのイオンモール伊丹と共同で、伊丹市の健康増進および街づくりを目指し、俳句投稿ウォーキングラリーイベント『伊丹 ふおと俳句の杜（もり）』を開催します。本イベントの参加者は、伊丹市を歩きながらお気に入りスポットについての俳句を詠み、そのスポットの写真と俳句を合わせた『ふおと俳句』作品をスマートフォンからWEB投稿し、専用WEBサイトの伊丹市マップ上に『俳句の杜』を築いていきます。また、本イベントはビンゴ形式のウォーキングラリーになっており、作品投稿スポットの指定されたビンゴの完成によって景品が提供され、さらには専門家による優秀俳句作品の表彰も行われます。つきましては、是非ご取材賜りたくご案内申し上げます。

【伊丹 ふおと俳句の杜】

本事業の開発システムでは俳句作品の投稿と表示をするために、スマートフォンから投稿された俳句と写真の作品を参加者ごとに管理し、写真の位置情報を基に専用WEBサイトの地図上へのマッピング表示やビンゴ結果表示を行います。塚本・寺田研究室は本システムの設計・実装・運用を担当します。

【イベント概要】

日 時：9月23日（土）～10月22日（日）
場 所：伊丹市内全域
主 催：イオンモール伊丹 神戸大学 塚本・寺田研究室
後 援：伊丹市教育委員会・伊丹市立図書館「ことば蔵」
選 者：伊丹大使 俳人 坪内稔典
ルール：ふおと俳句の投稿でラリーポイントを集める
ビンゴを完成させて景品を獲得する
専用HP：<https://hai-ku.net/>



【システム利用の流れ】



【神戸大学 塚本・寺田研究室の本事業を通じた新たな取り組み】

これまで塚本・寺田研究室では、コンピュータにおけるインタフェースや情報のデザインによる人の心理・行動の変化に関する研究を推進してきました。本事業では、これまでの『人の心理・行動を考慮した工学的な仕組み』の知見や技術を活用して、地域の健康増進および地域の目指す街づくりへ貢献する新しい技術開発に挑戦しています。

1. 地域の健康増進への貢献：歩行外出の意欲増進のための技術開発

高齢化に伴う健康増進のための施策の必要性から、歩行外出意欲を促す施策は、商業団体や自治体によって既に多く提案されています。こういった先行例を踏まえて、本事業では、『人の心理・行動を考慮した工学的な仕組み』を活用し、歩行外出意欲を促すためのより効果的な技術の開発に取り組んでいます。本事業を通して実イベントの大規模な実証実験を行い、情報の見せ方やシステム全体のデザインによる歩行外出意欲への影響を検証することで、工学やヘルスケアの分野にとって有益な知見が得られると考えています。

2. 地域の目指す街づくりへ貢献：ことばの感性・力を育むための技術開発

俳諧文化の伝統と地域資源をもつ伊丹市では、市民が言葉に関心をもつ心豊かな街『ことば文化都市』を目指し、市民のことばの感性・力を育む教育や施策が推進されてきました。このような地域の目指す街づくりを踏まえて、本事業ではシステムに俳句という地域の特色を取り入れており、情報の見せ方やシステム全体のデザインによる俳句作品内容への効果を検証し、ことばの感性・力を育むための効果的な技術の開発にも取り組んでいます。本事業の推進によって、この点に関して有益な知見が得られると考えています。

【問い合わせ先】

■神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻 塚本・寺田研究室

TEL : 078-803-6117 E-mail : tsutomu@eedept.kobe-u.ac.jp